## 事業報告書

1支援団体名	九州建設技術フォーラム実行委員会	
2事業名称	九州建設技術フォーラム 2024	
3 実 施 日 時	令和6年10月8日~9日	
4 実 施 場 所	福岡国際会議場	
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容)     九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進を効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みついて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展売意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を指すものである。     今年は、メインテーマの「国土を守る、いのちを守る ~進化する防災技術その未来~」を踏まえ、基調講演では国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部 部長 星隈順一氏に講演いただいた。また、昨年同様、家小きん師匠の「土木×落語」を開催した。ブース展示は全体で86社・機関が出展した。また、技術のWEBサイトの情報信にも85社・機関が参加した。  (事業実施効果)     昨年に引き続き、来場者の受付はQRコード受付、基調講演のWEB活用のイブ配信、技術のWEBサイトの情報発信、は今年も実施した。建設系学生へのリクルーティングプレゼンテーションは、昨年は1日目のそったが、今年は2日間開催し、九州大学をはじめ184名の学生(高等学校、門学校、大学)が参加し、建設業界のアピールが出来たと思われる。	に、目と・柳・発・・ラーだ
6 参 加 内 訳	総人数 2,854 4	各
	(1) 主催者参加 50 名	各
	(2) 日本人参加((1)を除く) 2,804 名	各
	(3) 外国人参加((1)を除く) 0 4	名
7 今後の方針	運営の効率化のため、引き続き来場者の受付をQRコード受付とする。さらアンケート結果等を踏まえ、基調講演の WEB 活用のライブ配信も引き続きまする。また、これまで開催してきた「土木×落語」や「写真展」のような新しい金を考えたいと思う。	<b></b> 尾施

(2024.10.8 開会式(委員長挨拶))



(2024.10.8 基調講演(+WEB配信))



(2024.10.8 ブース展示状況)



(2024.10.9 プレゼンテーション状況)



(2024.10.9 「土木×落語」講演状況)



(2024.10.8・9 案内看板(会場入口設置))

